

BLADE V770

クイックスタートガイド

目次

はじめに.....	1
同梱品一覧.....	2
安全上のご注意（必ずお守りください）	3
各部の名称.....	13
機能について.....	19
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	24
技術基準適合情報	26
法律上の注意事項	26
輸出管理規制について	28
お問い合わせ先.....	29

はじめに

このたびは、【BLADE V770】（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書の記載について

- ・本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

同梱品一覧

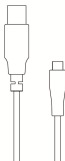
ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



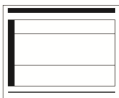
AC アダプタ



microUSB
ケーブル



クイック
スタートガイド



保証書



SIM カード
取り出しピン

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示の説明

 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷（※1）を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷（※2）を負うことが想定される内容や物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の説明

 指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

1. 本製品、内蔵電池、SIM カード、microUSB ケーブル、充電用機器の取り扱いについて(共通)

危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示

本製品に使用する AC アダプタと microUSB ケーブルは同梱されているものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、AC アダプタ・microUSB ケーブルのショート・発熱・発火・感電・故障などの原因となります。

指示

本製品は推奨使用温度 5℃～35℃、湿度 45%～85%の範囲でご使用ください。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。機器の変形・発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止

本製品に AC アダプタ・microUSB ケーブルを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。

分解禁止

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や充電用機器などに不具合が生じてても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

水ぬれ禁止 ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに AC アダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。

警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。

禁止

金属製のアクセサリなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁止

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止

接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。

禁止

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故や転倒・転落事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

禁止

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置いたり充電をしないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

- 1) コンセントから AC アダプタを持ってプラグを抜いてください。
- 2) 熱くないことを確認してから、本製品の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

指示

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、少しずつ音量を上げて適度な音量に調節してください。始めから音量を上げすぎて突然大きな音が出たり、音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

2. 本製品について

危険

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

本製品にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。

指示

ペットが本製品に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

禁止

microSD カードトレイに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

禁止

ストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

① 指示

本製品の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋏やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

⊘ 禁止

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

3.内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

⚠ 危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

① 指示

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

⊘ 禁止

火の中に投下しないでください。内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

⊘ 禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

不要になった本製品は、一般のゴミと一緒に捨てないでください。本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

4. 充電用機器について

警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。

AC アダプタ： AC100V～240V(家庭用交流 AC コンセント専用)また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもって火災や故障などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。感電などの原因となります。

禁止

お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。

注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

AC アダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。

禁止

AC アダプタのプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ず AC アダプタを持ってプラグを抜いてください。感電などの原因となります。

5. SIM カードの取り扱いについて



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください

① 指示

SIM カードを本体に取り付けるときや取り外すときは、取り扱いにご注意ください。必要以上に力を加えると、けがや SIM カードの故障の原因となります。

6. 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりこれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1) 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から 15cm 以上離して携行および使用してください。

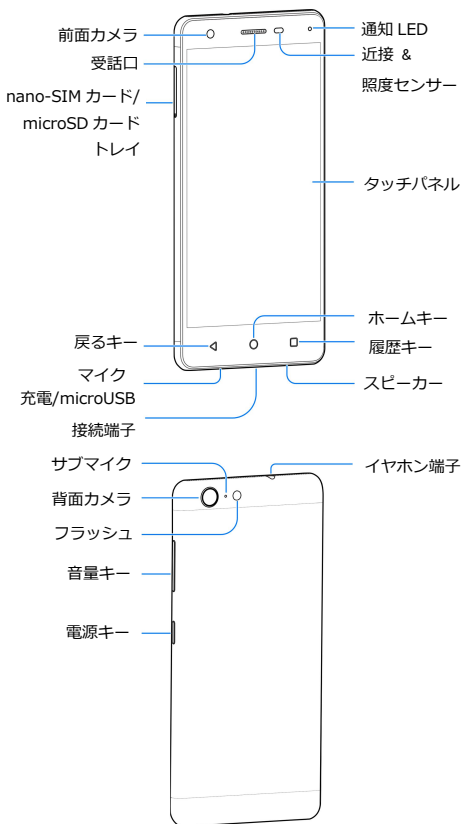
2) 身動きが自由に取れない状況など、15cm 以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。

3) 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

4) 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

各部の名称

外観



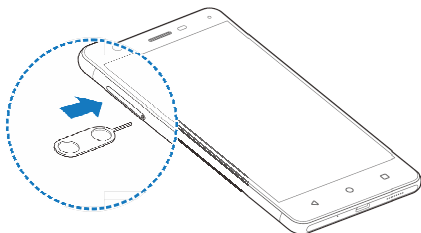
SIM カード/microSD カードの取り付けについて

注意

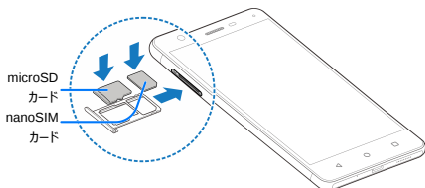
お使いの端末に損傷を与える可能性があるmicroSIMやSIMカードアダプターを使用しないでください。標準のnanoSIMカードは通信事業者から購入することが可能です。

端末起動中またはシャットダウン中、SIMカードの差し込みまたは抜き出しはしないでください。破損の原因となります。

1. カードトレイの穴にSIM取出しツールを挿入します。トレイが飛び出るまで、しっかりとツールを押してください。



2. カードトレイにnanoSIMカードとmicroSDカードを入れます。図のように注意しながらトレイを元に戻してください。



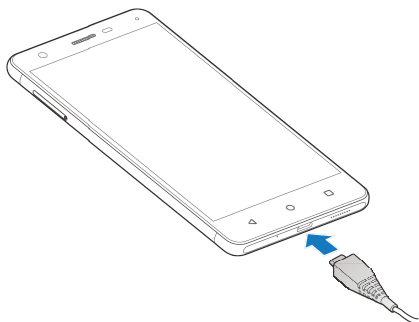
充電について

警告！

ZTE 公認の充電器や USB ケーブルのみ使用してください。非公認の製品を使われた場合、端末または内蔵電池の破損や破裂につながる恐れがあります。

警告！

端末の裏のカバーを外さないでください。内蔵電池を取り出すことはできません。火災や破裂につながる恐れがあります。



ヒント:

バッテリー残量が低い場合、充電中の際も端末を起動することができない可能性もあります。その場合、充電開始から 10 分後に再度お試しください。長時間充電しても改善されない場合はカスタマー・サービスにお問い合わせください。

ヒント:

もし画面がフリーズ状態、または反応が鈍い場合は電源キーを約 10 秒ほど押してから端末を再起動してください。

キーの機能

キー	機能
電源キー	押し続けてお使いの端末の電源をオンにします。 スリープモードに切り替え、画面ウェイクアップします。 電源オフ、再起動または電源オフにするには、押し続けてください。
音量キー	マナーモード、サイレントモード、メディア、受話口の音量を調節します。
戻るキー	押すと前の画面に移動します。 押すとアプリケーションを終了します。
ホームキー	押すと現在の画面からホーム画面に戻ります。押し続けるとGoogle検索に移動します。
履歴キー	押すと最近使用したアプリケーションを表示します。
	電話のアイコン - 発信やダイヤルパッドを開きます。
	カメラ - 写真と動画を撮影します。
	アプリ - アプリケーションメニューを開きます。
	SMS、MMSメッセージ画面を開きます。

ステータスバーアイコン

	3Gネットワーク		信号なし
	4Gネットワーク		信号強度（データなし）
	機内モード		モバイルデータ利用中
	バッテリー残量なし		マイクオフ（ミュート）
	バッテリー残量不足		バイブレーションオン
	バッテリーが一部消耗		スピーカーオン
	フルバッテリー		Wi-Fiネットワークに接続
	充電中		Bluetoothオン
	ヘッドセット接続		

通知アイコン

	新しいSMS/MMS		新しいSMS/MMS （CosmoSia利用時）
	新しいEmail		今後のイベント
	新しいGmail メッセージ		利用可能なアップデート
	新しいハングアウト メッセージ		新しいWi-Fiネットワーク が検出されました
	SMSまたはMMSの エラー		ダウンロードデータ
	不在着信		アップロードデータ

	USB接続		USBデザリングがオンになっています
	ミュージック再生中		Wi-Fiホットスポットオン

機能について

画面ロック

ホーム画面で**設定 > セキュリティ > 画面ロック**の手順で操作します。

画面ロックを設定した場合、本製品を使用する前に画面のロックを解除する必要があります。

電話をかける

1. ダイヤルパッドを開くにはホームキー >  >  をタッチします。
2. ダイヤルパッドを使用して電話番号を入力します。間違った数字を削除するには、 をタッチします。
3. 必要に応じて、オプションキー  を押し「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を選択します。
4. 国際電話をかける場合、プラス (+) 記号を入力するには0キーを押し続けます。
5. ダイヤルキーパッド下部の電話アイコン  をタッチして、発信します。

通話中のオプション

数字パッドを開くには  を押します。

スピーカー（ハンズフリー）モードを使用するには  を押します。

 を押してマイクをミュートにします。

現在の通話を保留にするには  を押します。

通話を終了するには  を押します。

電話に応答する場合

ディスプレイに発信者 ID および連絡先に保存された発信者に関する他の情報が表示されます。

着信に応答するには  電話に出る を押します。

着信を拒否するには  拒否 を押します。

電話 >  > **設定** > **全般** > **クイック返信**で拒否メッセージを設定することができます。

ヒント：音量キーを押すことで、着信音をミュートすることができます。

メッセージ・Eメール

「CosmoSia」を使用して、テキストメッセージ（SMS）、Eメール（MMS:UQ mobile メール）の送受信が出来ます。Eメールサービスには申込みが必要です。

Eメール（MMS：UQ mobile メール）の送受信

ホーム画面から  をタッチ。

サービス選択画面にて「UQ mobile メール」を選択、メールの設定、送受信などの方法については

UQ コミュニケーションズの HP

（<http://www.uqwimax.jp/support/mobile/guide/mail/index.html>）またはアプリのヘルプを参照してください。この設定を行うと「SMS」の設定も完了します。

※ **デフォルト SMS の選択を求められた場合、**
「CosmoSia」に設定してください。

メッセージ（SMS）の送受信 ※ Eメールは利用せずにSMSのみを利用する場合

ホーム画面から  をタッチ。

サービス選択画面にて「SMS」を選択、メッセージの送受信などの方法についてはアプリのヘルプを参照してください。

カメラ

ホーム画面で**カメラ**アイコンをタップしてカメラを起動します。

-  をタップして撮影します。
- 設定を変更する場合、 をタップしてください。

撮影した写真を確認したい場合、画面左下の縮図をタップして確認してください。アプリ画面で**ギャラリー**をタップすることで確認することもできます。

画面を左にスライドして撮影モードを確認することができます。

アイコン	撮影モード
	パノラマ
	-  をタップすることで前面カメラと背面カメラを切り替えすることができます。
	フィルタ
	多重露光
	インターバルキャプチャ
	シーンモード

ビデオカメラ

ホーム画面で**カメラ**アイコンをタップしてカメラを起動します。

-  をタップしてビデオを撮影し始めます。
- ビデオを撮影中、 をタップすることで写真をキャプチャーすることができます。
-  をタップすると撮影中止、 をタップすると撮影を継続することができます。
-  をタップして撮影を終了します。
- 撮影した動画を確認したい場合、画面左下の縮図をタップして確認してください。

ネットワーク

1. モバイルデータ

モバイルデータを利用してネットワークに接続した場合、ホーム画面で**設定 > データ使用量 > モバイルデータ**の手順で操作してモバイルデータを有効にしてください。

ヒント:

ご利用の通信事業者のプランによりデータ通信料を請求される場合があります。

2. Wi-Fi ネットワークへの接続

ネットワークデータの使用量を削減するには、Wi-Fi ネットワークに接続します。**設定 > Wi-Fi** を選択し、Wi-Fi を ON にしてから、接続するネットワークを選択します。ネットワークがセキュリティで保護されている場合は、パスワードが必要です。Wi-Fi パスワードは大文字と小文字が区別できるよう正しく入力してください。

データのバックアップ

本製品の連絡先、メッセージ、写真、アプリデータなどをバックアップすることができます。

- ・ Google サーバーにデータをバックアップ：ホーム画面で**設定**> **バックアップとリセット**の手順で操作してバックアップしてください。

ソフトウェアアップデート

次の二つの方法でソフトウェアをアップデートすることができます：

- ・ 本製品が Wi-Fi に接続されている状態で、利用可能なアップデートがある場合、アップデート通知とダウンロードリンクを受信することができます。
- ・ **設定** > **端末情報** > **ソフトウェアアップデート** > **アップデートの確認**の手順で操作してアップデート情報を確認することができます。最新のソフトウェアをダウンロードして指示に従いインストールします。

ヒント:

最新のソフトウェアをダウンロードする場合、Wi-Fi に接続することをおすすめします。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【BLADE V770】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本携帯電話機に対するSARの許容値は 2.0W/kg (※2)です。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は 0.383W/kg 、身体に装着した場合のSARの最大値は 1.090W/kg です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- ・ 総務省のホームページ :

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

- ・ 一般社団法人電波産業会のホームページ :

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

技術基準適合情報

電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技適マークを表示します。

技適マークは**設定 > 端末情報 > 法的情報 > 認証情報**で確認できます。

法律上の注意事項

版權所有 © 2016 ZTE CORPORATION

本書の一部または全部を問わず、ZTE Corporation の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法にも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている端末には、ZTE Corporation およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアの複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸与、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

知的財産権について

■著作権・肖像権について

・ お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。

また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

・ 本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権を侵害するおそれがありますので、お控えください。

■登録商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

ZTE および ZTE ロゴは、ZTE Corporation の商標です。Google および Android は Google, Inc.の商標であり、Bluetooth®の商標およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有しています。

microSD ロゴ、microSDXC ロゴ  は SD-3C, LLC の商標です。

Qualcomm®
snapdragon 

Qualcomm® Snapdragon™ プロセッサは Qualcomm Technologies, Inc. の製品です。

Qualcomm および Snapdragon は、米国 Qualcomm Incorporated の登録商標または商標です。

Dolby、ドルビー、およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。

ZTE Corporation によるこの商標の使用はライセンスにより許可されています。

本書に記載されたその他の商標、製品、サービス、会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属品の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地の通信事業者やネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

ZTE Corporation は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権利を有しています。

免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む(ただしこれらに限定されない)明示または非明示の保証を行いません。

ZTE Corporation は適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取ください。

詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

お問い合わせ先

■商品に関するお問い合わせ

UQ お客様サポートセンター

（一般電話・携帯電話などから）

0120-929-818（通話料無料）

受付時間 9：00～18：00 年中無休

・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

・IP 電話（050-XXXX-XXXX）からは接続できない場合があります。

■電話機の修理に関するお問い合わせ

端末故障受付センター

（一般電話・携帯電話などから）

0120-959-558（通話料無料）

受付時間 9：00～18：00 年中無休

・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

・IP 電話（050-XXXX-XXXX）からは接続できない場合があります。

■ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせ

UQ コミュニケーションズ株式会社

<http://www.uqwimax.jp/>